

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーカスシステムズ

コード番号 4662

URL <http://www.focus-s.com>

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)森 啓一

問合せ先責任者 (役職名)取締役

(氏名)後藤 亮

(TEL)03(5421)7777

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,827	5.3	227	12.7	229	15.3	183	32.3
29年3月期第2四半期	8,383	11.9	201	△0.1	199	0.5	138	△50.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	13.24	—
29年3月期第2四半期	10.01	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	14,993	7,189	47.9
29年3月期	14,567	7,258	49.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 7,189百万円 29年3月期 7,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,400	3.1	850	14.3	820	12.1	520	△5.7	37.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	16,292,942株	29年3月期	16,292,942株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	2,446,336株	29年3月期	2,446,336株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	13,846,606株	29年3月期2Q	13,846,606株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、政府主導の経済政策の効果もあって、雇用・所得環境の改善や、企業収益・設備投資の改善において、一部横ばいになっているものの緩やかな回復基調が続いております。

しかし、依然として、中国をはじめとするアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要があります。また、アメリカでは景気は着実に回復しており、先行きについても着実に回復が見込まれておりますが、今後の政策の動向及び影響等に留意する必要があります。

情報サービス業界におきましては、AIやIoT、フィンテック等の最先端技術の動きを背景に、情報システムに関する投資意欲は高水準で推移しており、人材不足という状況が続いております。

このような状況の中、当社は、優秀な人材確保への採用投資、技術者一人ひとりの価値を高めるための教育投資、ガバナンス強化を目的とした社内管理体制への人的投資及び新規事業・自社製品の創出のための投資を行い、組織間の連携強化による強い組織の構築を図り、さらに予見されるビジネスチャンスを確実なものとするため、企業力の向上に努めております。

新たな取組みとして、日本マイクロソフト株式会社と連携し、サイバー犯罪の証拠データ分析の高速処理化を実現するソリューション「サイフォクラウド」の提供を開始しました。また、ARグラスと薄型BluetoothセンサーデバイスのFCS1301（業務用薄型ビーコン）を連携したARシステムの提供を開始しました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高は8,827百万円と、前年同四半期と比べ増収となり過去最高を更新しました。利益面では、営業利益227百万円、経常利益229百万円、四半期純利益183百万円と、各利益とも前年同四半期と比べ増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期における総資産は14,993百万円となり、前事業年度末と比べ426百万円増加しました。

前事業年度末と比べ増減した主な内容は次のとおりです。

売掛金は56百万円減少し3,778百万円、仕掛品は185百万円増加し225百万円となりました。当社は工事進行基準を適用しておりますが、年度末に完了するプロジェクトが比較的多いことから、四半期末の数値は前事業年度末と比べ売掛金が減少し、仕掛品が増加する傾向にあります。

投資有価証券は115百万円減少し2,274百万円となりました。これは所有している投資有価証券の時価評価によるものです。また、保険積立金は112百万円減少し279百万円となりました。これは役員退任に伴う積立金の取崩によるものです。

このほか、現金及び預金は538百万円増加し4,208百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じる方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,670,064	4,208,659
電子記録債権	24,135	40,818
売掛金	3,835,048	3,778,265
商品及び製品	83,058	96,052
仕掛品	40,485	225,762
繰延税金資産	170,350	170,350
その他	58,610	52,309
流動資産合計	7,881,753	8,572,218
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,204,720	1,205,193
減価償却累計額	△872,325	△885,021
建物及び構築物(純額)	332,395	320,171
土地	3,110,792	3,110,792
その他	383,629	363,027
減価償却累計額	△301,305	△273,966
その他(純額)	82,324	89,060
有形固定資産合計	3,525,512	3,520,025
無形固定資産		
ソフトウェア	203,379	175,295
その他	5,105	4,248
無形固定資産合計	208,484	179,543
投資その他の資産		
投資有価証券	2,390,585	2,274,903
長期貸付金	31,500	28,500
その他	560,983	447,151
貸倒引当金	△31,500	△28,500
投資その他の資産合計	2,951,568	2,722,055
固定資産合計	6,685,566	6,421,623
資産合計	14,567,320	14,993,842

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	834,919	860,121
1年内償還予定の社債	629,000	709,000
短期借入金	235,990	506,700
1年内返済予定の長期借入金	741,045	765,750
未払法人税等	120,293	140,820
賞与引当金	414,536	570,625
役員賞与引当金	-	15,000
株主優待引当金	19,051	2,782
その他	791,860	857,766
流動負債合計	3,786,695	4,428,565
固定負債		
社債	1,417,000	1,422,500
長期借入金	1,289,497	1,280,703
長期末払金	6,642	6,642
繰延税金負債	632,567	597,561
役員退職慰労引当金	176,000	68,500
固定負債合計	3,521,706	3,375,906
負債合計	7,308,401	7,804,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,905,422	2,905,422
資本剰余金	1,468,471	1,468,471
利益剰余金	2,069,354	2,079,627
自己株式	△706,490	△706,490
株主資本合計	5,736,756	5,747,030
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,522,161	1,442,340
評価・換算差額等合計	1,522,161	1,442,340
純資産合計	7,258,918	7,189,370
負債純資産合計	14,567,320	14,993,842

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	8,383,657	8,827,551
売上原価	7,481,160	7,895,728
売上総利益	902,496	931,822
販売費及び一般管理費	700,896	704,655
営業利益	201,599	227,167
営業外収益		
受取利息及び配当金	13,705	3,775
保険配当金	2,666	7,938
受取家賃	3,728	3,763
貸倒引当金戻入額	3,000	3,000
その他	6,525	10,462
営業外収益合計	29,625	28,939
営業外費用		
支払利息	21,210	17,668
貸与資産減価償却費	2,902	1,402
社債発行費	7,164	6,072
その他	944	1,601
営業外費用合計	32,221	26,744
経常利益	199,003	229,362
特別利益		
保険解約返戻金	14,681	55,139
投資有価証券売却益	—	3,444
特別利益合計	14,681	58,584
特別損失		
役員退職慰労金	—	8,000
特別損失合計	—	8,000
税引前四半期純利益	213,685	279,946
法人税等	75,130	96,590
四半期純利益	138,555	183,355

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。